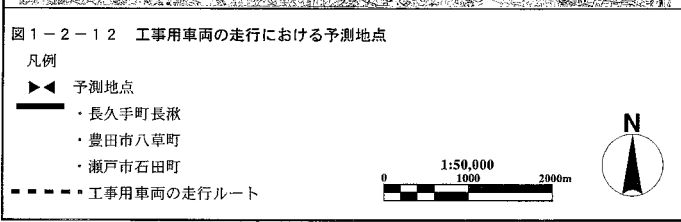
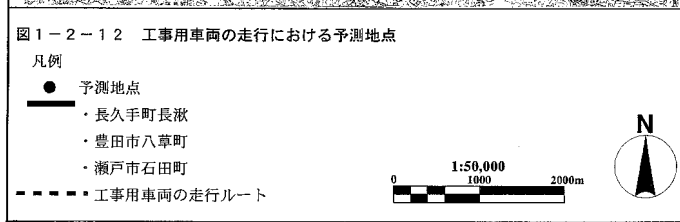
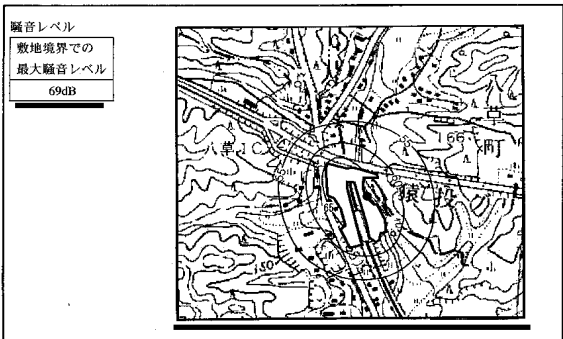
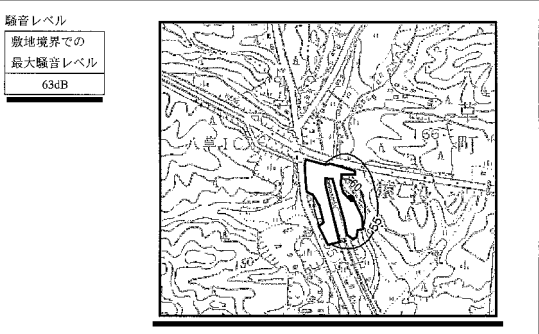
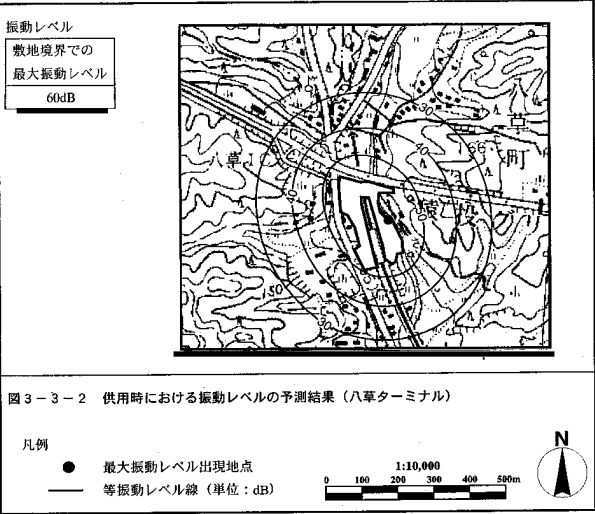
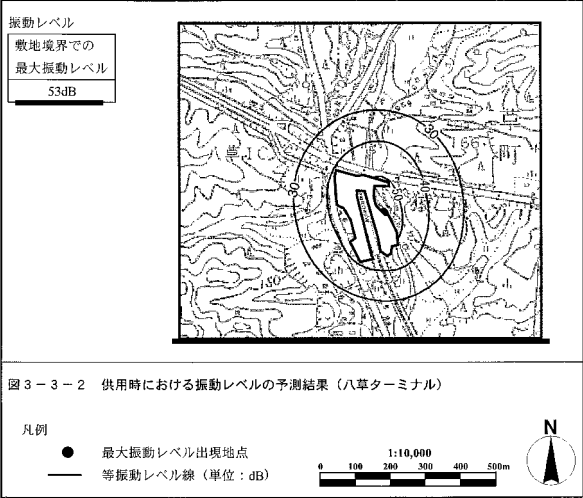


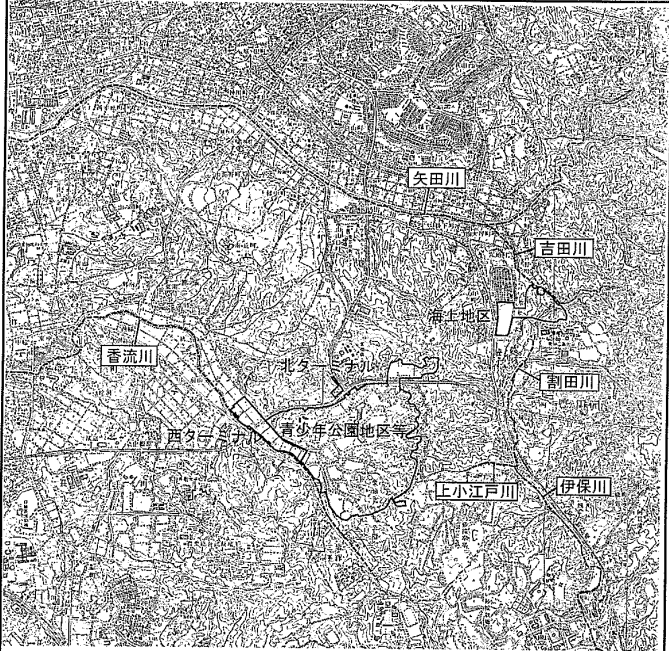
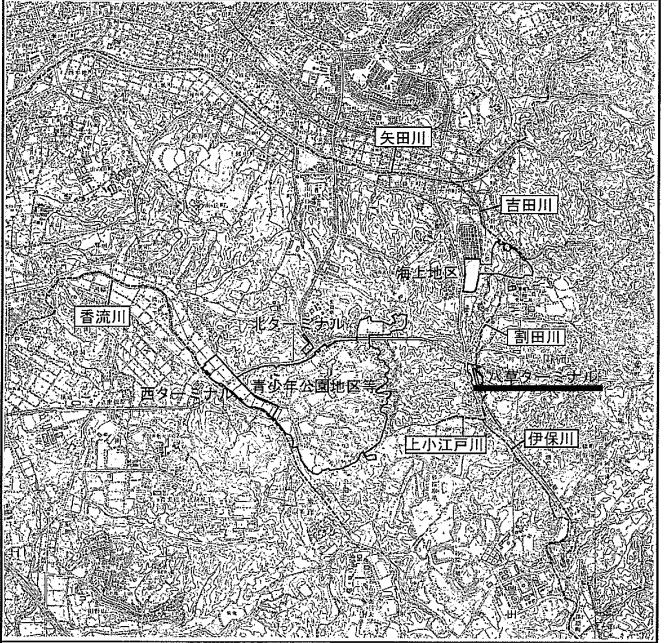
「2005年日本国際博覧会に係る環境影響評価追跡調査(予測・評価)報告書(その1)」の訂正について

平成15年3月に公表しました「2005年日本国際博覧会に係る環境影響評価追跡調査(予測・評価)報告書(その1)」の一部を以下のとおり訂正します。

頁	誤	頁	正
19, 203	(2) 国等の環境保全施策 大気汚染に係る環境基準は表1-2-1及び表1-2-2に示すとおりである。	19, 203	<<追加>>記述の誤りによる (2) 国等の環境保全施策 大気汚染に係る環境基準等は表1-2-1及び表1-2-2に示すとおりである。
27	【表1-2-8 中、機関出力の数値】 バックハウ 0.8m3 <u>169</u> 0.138	27	<<修正>>表示の誤りによる 【表1-2-8 中、機関出力の数値】 バックハウ 0.8m3 <u>141</u> 0.138
47		47	<<修正>>表示の誤りによる 
56	(ク) 年平均値から日平均値の年間98%値等への変換 年平均値から日平均値の年間98%値又は2%除外値への変換は以下の変換式を用いた。 a 二酸化窒素 $Y = a(\dots)$ [NO2] R : 二酸化窒素の <u>工事用車両</u> 寄与の年平均値(ppm) [NO2] BG : …… (出典)「道路環境影響評価の技術手法」(平成12年11月 (財)道路環境研究所) b 浮遊粒子状物質 $Y = a(\dots)$ [SPM] R : 浮遊粒子状物質の <u>工事用車両</u> 寄与の年平均値(mg/m3) [SPM] BG : …… (出典)「道路環境影響評価の技術手法」(平成12年11月 (財)道路環境研究所)	56	<<削除>>記述の誤りによる (ク) 年平均値から日平均値の年間98%値等への変換 年平均値から日平均値の年間98%値又は2%除外値への変換は以下の変換式を用いた。 a 二酸化窒素 $Y = a(\dots)$ [NO2] R : 二酸化窒素の <u>車両</u> 寄与の年平均値(ppm) [NO2] BG : …… (出典)「道路環境影響評価の技術手法」(平成12年11月 (財)道路環境研究所) b 浮遊粒子状物質 $Y = a(\dots)$ [SPM] R : 浮遊粒子状物質の <u>車両</u> 寄与の年平均値(mg/m3) [SPM] BG : …… (出典)「道路環境影響評価の技術手法」(平成12年11月 (財)道路環境研究所)

70	<p>(ア) 二酸化窒素 青少年公園西ターミナル等・・・・・・バックグラウンド濃度を加えた環境濃度(二酸化窒素の年平均値)は0.017ppmと予測された。 また、海上ターミナル及び会場(海上地区)から発生する寄与濃度が最大となる地点は会場(海上地区)南側敷地境界付近で、窒素酸化物の最大濃度は0.0032ppmと予測された。これを二酸化窒素に変換した上でバックグラウンド濃度を加えた環境濃度(二酸化窒素の年平均値)は0.014ppmと予測された。</p>	70	<p><<削除>>記述の誤りによる (ア) 二酸化窒素 青少年公園西ターミナル等・・・・・・でバックグラウンド濃度を加えた環境濃度は0.017ppmと予測された。 また、海上ターミナル及び会場(海上地区)から発生する寄与濃度が最大となる地点は会場(海上地区)南側敷地境界付近で、窒素酸化物の最大濃度は0.0032ppmと予測された。これを二酸化窒素に変換した上でバックグラウンド濃度を加えた環境濃度は0.014ppmと予測された。</p>
223	<p>(ア) 二酸化窒素 八草ターミナル・・・・・・バックグラウンド濃度を加えた環境濃度(二酸化窒素の年平均値)は0.013ppmと予測された。</p>	223	<p><<削除>>記述の誤りによる (ア) 二酸化窒素 八草ターミナル・・・・・・でバックグラウンド濃度を加えた環境濃度は0.013ppmと予測された。</p>
258	<p>八草ターミナル内のバスの走行による騒音の予測結果は図2-3-2に示すとおりである。等価騒音レベルの敷地境界における最大値は、図2-3-2のとおり昼間 <u>69dB</u> (位置)と予測された。</p>  <p>図2-3-2 供用時における騒音レベルの予測結果(八草ターミナル)</p> <p>凡例 ● 最大騒音レベル出現地点 — 等価騒音レベル線(単位: dB)</p>	258	<p><<修正>>計算諸元設定の誤りによる 八草ターミナル内のバスの走行による騒音の予測結果は図2-3-2に示すとおりである。等価騒音レベルの敷地境界における最大値は、図2-3-2のとおり昼間 <u>63dB</u> (位置)と予測された。</p>  <p>図2-3-2 供用時における騒音レベルの予測結果(八草ターミナル)</p> <p>凡例 ● 最大騒音レベル出現地点 — 等価騒音レベル線(単位: dB)</p>

<p>259</p>	<p>(1) 環境影響の回避又は低減に係る評価 八草ターミナルから発生する騒音は、敷地境界において昼間の時間帯で最大 <u>69dB</u> と予測されている。</p>	<p>259</p>	<p><<修正>>計算諸元設定の誤りによる (1) 環境影響の回避又は低減に係る評価 八草ターミナルから発生する騒音は、敷地境界において昼間の時間帯で最大 <u>63dB</u> と予測されている。</p>
<p>274</p>	<p>ア 予測時間帯 予測自時間帯はターミナルの<u>最大</u>となる時間帯(9時~10時)とした。</p>	<p>274</p>	<p><<削除>>記述の誤りによる ア 予測時間帯 予測時間帯はターミナルの最大となる時間帯(9時~10時)とした。</p>
<p>276</p>	<p>八草ターミナル内のバスの走行による振動の予測結果は図3-3-2に示すとおりである。振動レベルの敷地境界における最大値は、ピーク時間帯で <u>60dB</u> (位置) と予測された。</p>  <p>図3-3-2 供用時における振動レベルの予測結果(八草ターミナル)</p> <p>凡例 ● 最大振動レベル出現地点 — 等振動レベル線(単位: dB)</p> <p>1:10,000 0 100 200 300 400 500m</p>	<p>276</p>	<p><<修正>>計算諸元設定の誤りによる 八草ターミナル内のバスの走行による振動の予測結果は図3-3-2に示すとおりである。振動レベルの敷地境界における最大値は、ピーク時間帯で <u>53dB</u> (位置) と予測された。</p>  <p>図3-3-2 供用時における振動レベルの予測結果(八草ターミナル)</p> <p>凡例 ● 最大振動レベル出現地点 — 等振動レベル線(単位: dB)</p> <p>1:10,000 0 100 200 300 400 500m</p>
<p>276</p>	<p>(1) 環境影響の回避又は低減に係る評価 八草ターミナルから発生する振動は、敷地境界においてピーク時間帯で最大 <u>60dB</u> と予測されている。</p>	<p>276</p>	<p><<修正>>計算諸元設定の誤りによる (1) 環境影響の回避又は低減に係る評価 八草ターミナルから発生する振動は、敷地境界においてピーク時間帯で最大 <u>53dB</u> と予測されている。</p>

<p>300</p>	<p>豊田市八草町において、青少年公園地区等の工事用車両の走行による年平均値の環境濃度（日平均値の2%値除外値）は0.099mg/m³と予測されており、環境基準値を<u>上</u>回っている。浮遊粒子状物質の1時間値の環境濃度は0.220mg/m³と予測されており、環境基準値を上回っている。</p>	<p>300</p>	<p><<修正>>記述の誤りによる 豊田市八草町において、青少年公園地区等の工事用車両の走行による年平均値の環境濃度（日平均値の2%値除外値）は0.099mg/m³と予測されており、環境基準値を<u>下</u>回っている。浮遊粒子状物質の1時間値の環境濃度は0.220mg/m³と予測されており、環境基準値を上回っている。</p>
<p>321</p>	 <p>会場及びターミナルと周辺河川との位置関係</p> <p>1 : 50,000</p> <p>0 1 2 km</p>	<p>321</p>	 <p>会場及びターミナルと周辺河川との位置関係</p> <p>1 : 50,000</p> <p>0 1 2 km</p>